

中部学院大学報

# PAULOWNIA<sup>+</sup>

ポローニア プラス

CHUBUGAKUIN DIGEST





# 硬式野球部 春秋連続全国大会出場

## 明治神宮野球大会ダイジェスト



①戦いを終えてスタンドに向かうナイン ②先発したエース宮島拓斗投手 ③チームをけん引したキャプテンの宮坂愛斗選手 ④気迫のスライディングを見せた田中恵亮選手 ⑤スタンドに喜びを伝える佐藤孝昭選手 ⑥大きな声援を送る硬式野球部員 ⑦応援に花を咲かせたチアダンス部RedBaby's ⑧演奏で応援を盛り上げた吹奏楽部 ⑨出場を記念したオリジナルタオルと「カルスポ」特集号

本学硬式野球部は、明治神宮野球大会に2年ぶり5度目の出場を果たしました。春の全日本大学野球選手権と続けて全国大会に出場するのは、プロ野球広島東洋カープの野間峻祥選手が在籍していた2013年以来10年ぶり。初戦は日本体育大学(関東五連盟第2代表)と対戦。チャンスであと1本が出ず、2-7で敗れましたが、2、3年生が多く在籍するチームで、来年度の活躍に期待が高まります。



PAULOWNIAは

中部学院のシンボルである「桐」の英語表記。

かつては大学祭を「ポローニア祭」と呼び、

学生に親しまれてきました。

発行 | 中部学院大学報編集委員会

表紙写真

ヘブライ語の文字が刻まれたレリーフ

2024 Vol.51

## Contents

P 04 GRADUATES SPECIAL FEATURE 01  
恩師からのメッセージ

P 06 GRADUATES SPECIAL FEATURE 02  
卒業生座談会

P 08 SPECIAL FEATURE  
キラッと輝く中部学院生

P 10 サークル紹介

P 11 学長賞・同窓会長賞

P 12 CLUB & CIRCL

P 14 TOPICS

PAULOWNIA+  
Vol.51



## 恩師からのメッセージ

### 夢に向かってしなやかに

卒業おめでとうございます。皆さんが入学した春にコロナウイルス感染症が日本に上陸し、瞬間にパンデミックとして広がりました。今振り返ると、授業は対面と遠隔のハイブリットとなり、さぞかし大変だったと思います。また、福祉施設、病院、小学校、幼稚園などでの実習も困難となり、学内での模擬体験も多かったと思います。本当にご苦労様でした。

一方自然界の草木は、春になると芽を吹き、梅雨とともに大きく茂り、夏の日差しを一杯受け取ります。やがて、紅葉し、実をつけ、落ち葉となります。でも枝先には来年のための小さな芽がすでに準備されています。この様に草木は、四季の移り変わりに合わせて形を変えながら、少しずつ成長していきます。皆様の今日の努力は明日に繋がります、1年間の努力は翌年に繋がります。皆様も自然の移り変わりを感じながら、しなやかにそしてたくましく夢を追い続けてください。

大学学長 江馬 諭



### 祝福の恵みの光に包まれますように祈ります

ご卒業おめでとうございます。晴れの門出を心よりお祝い申し上げます。短期大学部での2年間は、本当に忙しい毎日であったことと思います。心が折れそうな時も一度や二度ではないかもしれませんが、卒業を可能にしたのは、皆さんが忍耐強く頑張ったのは勿論のことですが、共に学びあえる素晴らしい仲間と、常に見守り導き続けてくださった学科教員の存在があったからです。どうぞ、そのことをしっかりと心に覚えてください。

卒業後、多くの正解の無い問いに出合い戸惑うかもしれませんが、それらに向き合う力を皆さんは養ってきました。たくましく道を切り開いていってほしいと思います。

社会の在り方そのものが大きく変化している時代だからこそ、本学のモットー「生きる、を学ぶ」を心に刻み、自分らしく幸せに生きるために、そして周りが幸せに生きるにはどうしたら良いのかという視点で、これからも「生きる」を学び続けて頂きたいと思っております。

皆さんが祝福の恵みの光に包まれますように祈ります。次は、ホームカミングデーでお会いしましょう！

短期大学部学長 片桐 史恵



### 希望を持って勇往邁進！

ご卒業を心からお祝い申し上げます。コロナに翻弄されながらも、大学生として本学で学び友情を育んだ日々は、これから大海原に船出する人生の基盤となることでしょう。本学のキャンパスが語りかけているメッセージの一端を下記に記して卒業する皆さんへの贈る言葉と致します。

1. 深い知恵ある存在を尊敬することが人間としての賢さの基であると語りかける本学の建学の聖句「神を畏れることは、知識のはじめである」がグレースホールを始めとして多くの場所に、日本語やヘブライ語で掲げられています。

2. 聖句「光」をモチーフにしたステンドグラスが、グレースホール(関キャンパス)、グローリアホール(各務原キャンパス)に掲げられ美しい光で語りかけています。

3. 本学のパイプオルガン(グレースホール)は、ガルニエ社が3年余の歳月をかけて制作し、1437本のパイプが織りなす深く美しい音色は音の芸術品と言われています。

このようなキャンパスで過ごした日々を糧として、何事であろうとも希望を持って勇往邁進されますように心から祈っています。

大学・短期大学部副学長 片桐 多恵子



### 変えられるものと変えられないものを大切に

人間福祉学部長 飯尾 良英

ご卒業おめでとうございます。4年間の青春(学生生活)は如何でしたか。皆さんが入学した年は、入学式も対面授業もない『3密回避』のスタートでした。4年生になってようやく普通の生活に戻ってきた感があります。コロナ禍を境に社会は大きく変化しています。「リモート」「AI」等デジタル技術が私たちの暮らしに浸透してきました。科学技術の進歩ばかりではなく、国際関係、政治や経済、価値観にも変化が現れています。時代の節目に立つ皆さんに送る言葉は、「学ぶこと」です。よく読み・よく聴き、進路を見つけてください。しかし、どんなに世の中が変わっても私たちが考える「幸せ」は変わらないと思います。日々の暮らしを愛おしみ、人々を大切にお過ごしください。ご健康とご多幸、ご活躍をお祈りいたします。



### これからの世を支える世代に

看護リハビリテーション学部長 大森 正英

ご卒業おめでとうございます。皆さんは新型コロナウイルス感染症の動向が本格化した年に入学され、幾多の困難を乗り越えて世の中に出て行こうとしています。今年は早くも年明けから様々な災厄に見舞われています。しかし、日本はこうした苦難を何度も乗り越えてきた国です。皆さんは特に貴重な体験をした世代として、これからの世の中を支えていく使命があるのです。大学で身に付けたことが着実に実を結んでいくことを願い、ご健闘を祈っています。



### 笑顔とあいさつを忘れずに

短期大学部幼児教育学科長 杉山 祐子

ご卒業おめでとうございます。子供にかかわる仕事を夢見て入学したみなさんが、様々な困難を克服し、努力し、ともに学ぶ仲間を得た2年間は、短いけれど人生で最も充実した時ではないでしょうか。この2年間を原動力として、本学の「“生きる”を学ぶ」精神のもと、まずは自分自身が幸せに生き、そして周りの人が幸せに生きるために力を尽くすことを期待します。それは、幼児教育学科のモットーである「笑顔とあいさつ」が人とつながっていくはじめての第一歩ですね。



### 学び続ける人であれ

教育学部長 小林 直樹

ご卒業おめでとうございます。皆さんが入学した年に、私も本学へ着任しましたので、皆さんのご卒業には感慨深いものがあります。

美濃国岩村藩出身の儒学者である佐藤一斎は『言志四録』の中で、「仕にして学べば、即ち老いて衰えず」と述べています。これまでの学びを礎にしながらい、社会人としてさらに様々なことに興味をもち、挑戦してみてください。皆さんそれぞれが豊かな人生になるよう祈っております。



### 卒業おめでとう！

スポーツ健康科学部長 鈴木 壯

卒業おめでとうございます。大学生活が終わり、次へのステップを踏み出すときです。社会人としての大人の人生の始まりです。自分らしい人生を送ることができることを願っています。

人は「人と人との関係」の中で生まれ、育ちます。自分自身のやり方で、自立してやっていくとしても、他者の力を借り、支えられながら、その関係の中で生き、育っていくのです。これまでも、そして、これからもそうです。楽しいことばかりではなく、悩み、苦しみもあります。そういう中で、自分らしく生きていってほしいと思います。今後の活躍を楽しみにしています。



### 新しい出会いを自分の力に

短期大学部社会福祉学科長 吉川 杉生

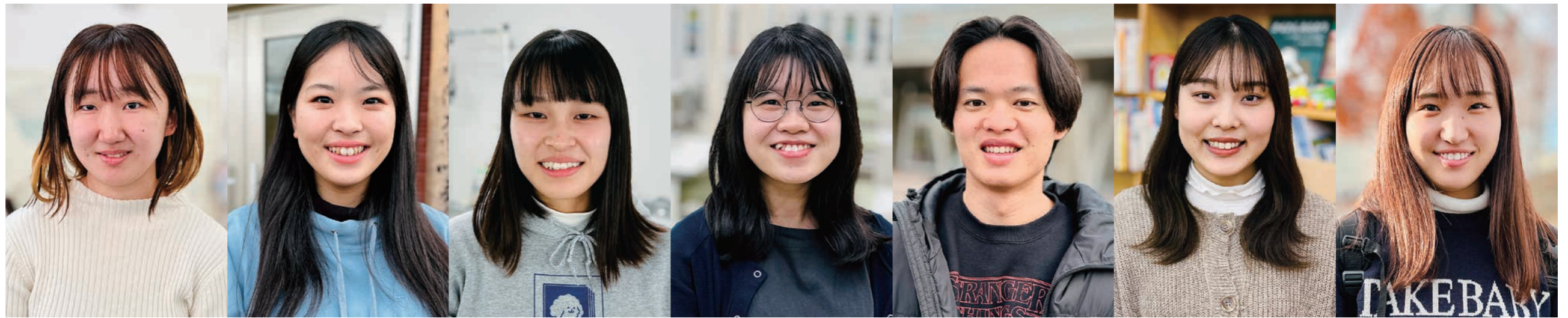
いよいよ卒業ですね。この2年間を振り返ったとき、みなさんの記憶に残る出会いや出来事は何かあったでしょうか。

社会福祉学科には3つのコースがあり、また留学生や社会人経験のある学生も多くいます。生活史と価値観が異なる一人ひとりが、クラスやゼミ、実習やインターンシップなどで一緒に活動することは難しかったかもしれませんが、自分と異なる人や世界に出会うことで得られる発見を楽しんでほしいと思っています。

人の生き方はいろいろあって、その何かが狭い自分の見方を変えるかもしれません。そんな気持ちの余裕をもって、新しい世界に挑戦してください。応援しています。







人間福祉学部  
人間福祉学科

丹羽 梨湖さん  
(にわ・りこ)

公務員(福祉職)

教育学部  
子ども教育学科

川上 さくらさん  
(かわかみ・さくら)

教諭(幼稚園)

看護リハビリテーション学部  
理学療法学科

森 千夏さん  
(もり・ちなつ)

病院(理学療法士)

看護リハビリテーション学部  
看護学科

河合 実友さん  
(かわい・みゆう)

病院(看護師)

スポーツ健康科学部  
スポーツ健康科学科

渡邊 滯さん  
(わたなべ・れい)

教員(中学校)

短期大学部  
幼児教育学科

梅本 采芽さん  
(うめもと・あやめ)

教員(幼稚園)

短期大学部  
社会福祉学科

國枝 観音さん  
(くにえだ・みのん)

クリニック(医療事務)

## 卒業生座談会

4年間、2年間の大学生活を終え、この春、社会に飛び立つ卒業生の皆さんに、大学時代の思い出や就職に向けての抱負、後輩の皆さんへのメッセージを語り合ってもらいました。

### 実習で大きな学びと経験 仲間との助け合いで成長

一大学生活を振り返って、頑張ってきたことや印象に残っていることは。

**河合** 一つ一つのコミュニケーションが印象に残っています。会話を通して、自分の心が変化していく過程が新鮮でした。実習先では、患者さんの気持ちを受け取り、共有し、理解し合うことを意識しました。同時に、患者さんと信頼関係を築く難しさも学びました。

**川上** 実家を離れて一人暮らしをしてきましたが、親のありがたみを実感しました。同時に一人でもできることも増えました。部活動は吹奏楽部に所属し、副部長も務めました。学部や学年を越えた関わりが増え、視点が違う考え方を持てるようになりました。

**梅本** 模擬授業と実習です。常に新たな気づきや学びがあり、講義の理解が深まりました。実際、子どもに自分が考えた保育をしてみると、計画通りにいかなかったり、もっと準備が必要だったり、反省点もありましたが、楽しんでいる姿を見て、達成感もありました。

**森** 初めての臨床実習は緊張しましたが、実際の理学療法や、患者さんとのコミュニケーションを通して、座学だけでは学べないことを経験することができました。リハビリプログラムを考える機会もあり、指導者や先生の指導、仲間との助け合いの中で成長を感じました。

**丹羽** 大学で知識を習得すると共に、実践の場として、児童館でのアルバイトに力を入れました。家庭環境が複雑な子や障害のある子どもなどさまざまでしたが、大学で学んだ専門的知識を生かし、怠らないように自分なりに取り組みました。

**渡邊** 大学教員採用試験に向けて勉強と教育実習を頑張ってきました。公務員試験対策講座を受講し、実習では教員のやりがいを感じました。また、スイミングスクールのアルバイトでは、子どもと関わる時間をなるべく多く確保するなど、経験を積み重ねてきました。

**國枝** 何事にもチャレンジすることが大切であると考え、資格取得や検定を頑張りました。特に2つの医療事務検定に挑戦し、共に合格することができました。そのほか、歯科助手実習も行い、資格を取得しました。

### 笑顔とコミュニケーションを大切に 専門性を高め、自己研鑽に励みたい

一就職に向けての抱負は。

**國枝** 人と関わる仕事がしたいと思い、医療事務を目指してきました。医療事務は、患者さんが病院やクリニックで最初に会える場です。まさに病院の顔として、患者の皆さんから信頼していただけるように、笑顔とコミュニケーションを大切に頑張りたいです。

**川上** 地元に戻り、幼稚園教諭になります。興味や関心のある事柄に寄り添い、一緒になって楽しみ、子どもたちと一緒に成長していきたいです。「自分を変えてくれるものが自分をつくるものだ」という言葉を大切にしながら、どんな失敗も次に生かしていきたいです。

**梅本** 子どもを第一に考え、柔軟な考えを持って支えていける保育

者になりたいです。子どもの「やりたい!」という思いを尊重し、生き生きとできる環境を整え、一緒に楽しい時間を共有したいです。また、謙虚に前向きをモットーに良いところを吸収していきたいです。

**渡邊** 高校の時、水球部の顧問の先生が、技術面だけでなく、礼儀も教えてくれて、あこがれていました。まずは、自分自身が生徒の見本となるような行動を取る。その上で、多くの時間を過ごす中で、一緒に成長を実感したり、感動を共有したりしていきたいです。

**丹羽** 高校の保育実習で、家庭環境が複雑だったり、障がいがあったりする子どもを目の当たりにして、一人でも多く助けたいと思い、公務員を目指しました。大学で得た経験を生かしながら、一生懸命仕事と向き合い、障がい児や保護者を支援していきたいです。

**森** 小学校の時に祖母がリハビリで笑顔になっていく姿を見て、関心を持ちました。退院した後も見据えて、患者さんの生活を支えられるように、さまざまな視点から評価し、治療を提供できる理学療法士になりたいです。専門性も高め、自己研鑽に励んでいきたいです。

**河合** 患者さんに安心や安楽を与えられる看護師でありたいです。次に、何事にも目的意識を持ちながらまじめに取り組み、柔軟な視点を持ち合わせた社会人でありたいです。そして、自分の良さである探求心や好奇心を大切に、研究も含めて学び続けていきたいです。

### 自分の発見や気づきを大切に いろいろなことに挑戦をー

一後輩に向けてのメッセージを。

**渡邊** 長いようであっという間に時間が過ぎてしまいます。「何に向かって頑張りたいのか」ということを見つけるのが大切だと思います。

「遊ぶ時は遊んで、やる時はしっかりやる」というメリハリとつけて行動できるような人間になれるように頑張ってください。

**國枝** 短期大学部は2年であっという間でしたが、本当に楽しくて充実した大学生活を送ることができました。だからこそ、特に短大部の皆さんは短い時間を大切に過ごしてほしいです。楽しいことや資格取得など、いろいろなことに挑戦してみてください。

**河合** 大学には、いろいろな人に出会い、さまざまな視点から話をし、多くの気づきや物事を幅広く見る機会があり、伝えること、聞くことの楽しさ、豊かさを感じました。心や知識、技術を育める場所で、感じて、考えて、自分の発見や気づきを大切にしてください。

**森** 臨床実習や国家試験対策の時には、講義で学んだ知識や技術がつながっていることを実感しました。先生方にも質問して、学びを深めていってほしいです。OSCE(実技テスト)や試験対策では仲間の存在がとても大きいです。助け合いながら頑張ってください。

**川上** 実習は大変でしたが、同じ目標を持つ仲間と出会い、一緒に乗り切ることができました。大学は勉強だけでなく、人間関係や一般的なマナーなど就職したときに必要なことを学べます。「大変だったけれど楽しかった」と思えるような生活を送ってほしいです。

**丹羽** 「何になりたいのか」がまだ分かっていない状況かもしれませんが、どんな選択をしても前進できるように、今から準備をしておくよと思います。メンタル的につらいこともあると思うので、周囲の力も借りながら、後悔のない選択をしてほしいと思います。

**梅本** 失敗するなら今のうちです。苦手なことや取り組みにくいことにぜひ挑戦してほしいです。失敗しても、周りの仲間や先生が助けてくれます。引き出しの豊富な保育者になるために、「少しでもできる!」を増やして、実り多い大学生活を過ごしてください。



# SPECIAL FEATURE

## キラッと輝く中部学院生

### ゴルフ部 プロテストに2名が現役合格 卒業生2名も

本学ゴルフ部の2名(いずれもスポーツ健康科学部4年)がプロテストに現役合格を果たしました。在学での合格は昨年度の5名に続いての快挙。また、卒業生2名も合格しました。本学からのプロテスト合格者は2010年の創部以来、17名(退部後の合格者も含む)となりました。

現役でプロテストに合格したのは、笠原瑛選手(広島・瀬戸内高校出身、最終プロテスト24位タイ)、長谷川貴優選手(各務原高校出身、同46位タイ)。卒業生は水田竜昇さん(2021年度スポーツ健康科学部卒業、12位タイ)、峠文翔さん(2018年度経営学部卒業、29位タイ)。

#### PGA(男子) 資格認定プロテスト(最終プロテスト)

【男子】2023年8月30日から3日間、北海道の登別カントリークラブにて開催。46位タイまでの55名が合格

### プロテストに合格して

**笠原** うれしかったです。2次予選は2日が終わった段階で、クリア圏内まで打数が足りない状況でした。最終日は、吹っ切れて臨んだのが良かったのか、6アンダーで終わられて安堵しました。最終テストは、ショットが乱れて苦戦しましたが、パターで3連続バーディーを取るなどカバーできました。

**長谷川** 最終テストは本調子ではなく、余裕がありませんでした。2日目が終わった時点で合格圏外にいて、3、4日目が中止となったため、最終日に結果を出すしかない状態でした。気持ちを取り直して、1アンダーと結果を残すことができ良かったです。

### 大学生活を振り返って

**笠原** レギュラーツアーに3回出場することができ、中でも、2年には中日クラウンズでローアマ(ベストアマ)を獲ることができ、自信になりました。体幹トレーニングを積んで、安定感が上がりました。

**長谷川** 瑛(笠原選手)をはじめ、部員と切磋琢磨し、刺激を受け合いながら、ゴルフと向き合えたのが良かったです。同



現役プロ合格を果たした長谷川貴優選手(左)と笠原瑛選手

期の瑛が一番のライバルで、先に中日クラウンズに出て活躍していたので、「その場に立ちたい」「負けたくない」という思いで戦ってきましたが、4年の時に出場できて思い出に残っています。

### プロに向けて一言

**長谷川** ようやくスタートラインに立てました。これから生かすも生かせないのも自分次第になるので、力を発揮したいです。シード獲得を目標に、応援されるようなプロゴルファーになりたいです。

**笠原** シード獲得、賞金を稼げるプロを目指したいと思っています。そして、みんなから愛され、盛り上げていけるような選手に成長していきたいです。

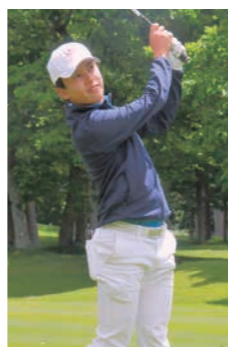
#### 笠原 瑛 (かさはら・あきら)

- 2001年6月生まれ 広島県熊野町出身
- 163cm レフティー(左)
- ゴルフを始めた時の年齢/5歳
- ゴルフを始めた動機/姉の影響
- ドライバー平均飛距離/300ヤード
- ベストスコア/62(富士カントリー可見クラブ)
- 主な戦績/クラウンズ(2021・ローアマ、15位タイ)
- 広島県アマチュア選手権3連覇(21-23)
- 目標とする人/タイガー・ウッズ



#### 長谷川 貴優 (はせがわ・たかや)

- 2001年6月生まれ 岐阜県各務原市出身
- 168cm
- ゴルフを始めた時の年齢/8歳
- ゴルフを始めた動機/父の影響
- ドライバー平均飛距離/280ヤード
- ベストスコア/63(明智ゴルフ倶楽部)
- 主な戦績/岐阜県アマチュア選手権2連覇(22-23)
- 目標とする人/甲斐拓也(プロ野球選手・ソフトバンク)



### 男女とも全国大会に出場 荒川怜郁選手はプロで躍動

中部学生秋季対抗戦で男子は優勝、女子は2位で、常陸宮杯(男子)ならびに常陸宮妃杯(女子)全日本大学選手権大会(10月/石川・片山津ゴルフ倶楽部西コース)に出場を果たしました。結果は男子が6位、女子は7位でした。その直後に行われた全日本大学スーパーリーグ(11月/兵庫・三木ゴルフ倶楽部)では、男子は5位、女子は7位でした。個人では各大会などでは上位の成績を収めています。また、プロとして活動している荒川怜郁選手(スポーツ健康科学部4年、沖縄・コザ高校出身)は2023年のJLPGAツアーにおける獲得賞金は約1300万円(76位)、ポイントランキングは82位(196pt)

#### 今までの本学のプロテスト合格者(カッコ内はプロテスト年)

- 2010年度入学/坂井允誌(2018)
- 2012年度入学/山本景子(2016)
- 2014年度入学/光田智輝(2018)、嶺瀬悠太(2019)
- 2015年度入学/大内智文(2020)
- 2016年度入学/中山綱也(2019)、金子優将(2020)、三島泰哉(同)
- 2019年度入学/新井隆一(2021)、服部雅也(2022)、富田幸暉(同)、藤田輝人(同)、阪口亮太(同)
- 2021年度入学/荒川怜郁(2022)

## 女子バスケットボール部 後藤選手 Wリーグ「姫路イーグレッツ」に入団

女子バスケットボール部の後藤友花選手(スポーツ④/熊本国府高校出身)がバスケットボール女子実業団トップリーグ「Wリーグ」の姫路イーグレッツへの入団が決まりました。

後藤さんは、172cmの身長を生かしたリバウンドプレーを得意とし、今年度春季の東海学生トーナメントでは、リバウンド王を獲得しました。今後、アーリーエントリー(※)選手として、「Wリーグ」公式戦の出場が可能になります。



#### 後藤 友花 (ごとう・ともか)

2001年生まれ、熊本県出身。10歳からバスケットボールを始める。熊本国府高校卒業後、2020年4月に本学スポーツ健康科学部に入学。ポジションはパワーフォワード(PF)。4年の東海学生トーナメントではリバウンド王を獲得。プレースタイルは、リバウンドとインサイドプレー。

#### ※アーリーエントリー

選手がチームとの入団内定した場合に限り、そのチームからの申請により、入社および入団前にエントリー(競技者登録)できる制度

#### ープロへの意識は。

小学生のころからの夢でしたが、4年生の春に行われた大会でリバウンド王を獲得し、自分の中で明確に、プロでプレーすることを意識し始めました。

#### ー思い出に残っている試合は。

4年生のリーグで戦った中京大学との試合です。いつも負けてばかりいた相手ですが、最後の試合で、1点差で勝つことができ、チーム全体で勝利をつかめたことです。



#### ーどんな選手を目指したいですか。

無名な選手でもプロになれることを証明できました。ひたむきなプレーや泥臭いプレーをすることで夢や希望を与えられる選手になりたいです。

#### ー後輩へのメッセージを。

私はリバウンドだけは誰にも負けないという気持ちで臨んできました。何か一つ、自分の武器を身に付けてほしいと思います。

東海学生バスケットボールリーグ戦の男子1部の男子バスケットボール部は、1次・2次リーグの総合勝ち点を18(通算4勝10敗)とし、6位で終わりました。個人では、足立龍聖選手(人間福祉④/吉城高校出身)がリバウンド王に輝き、得点部門でも2位に付けました。また、大山洗生選手(スポーツ④/沖縄・宜野湾高校出身)はアシスト部門で2位でした。

2部の女子バスケットボール部は、1次・2次リーグの総合勝ち点を19(通算9勝1敗)で優勝を飾りました。1部・2部入れ替え戦では、中部大学(1部8位)に敗れ、1部昇格は来季にお預けとなりました。個人では、得点部門で、伊藤杏奈選手(同④/富山・高岡第一高校出身)が2位、野中由姫乃選手(同③/熊本国府高校出身)が3位に入り、野中選手は、3P部門でも2位になりました。



# 手話サークル

## 手話という共通の学びでつながる輪

手話サークルは、人間福祉学部や短期大学部社会福祉学科の学生を中心に、現在17名が在籍し、そのうち2名が留学生です。主な活動は、入学式や卒業式での手話通訳、手話スピーチコンテストにおける運営や出場、高校生への手話指導、イベントへの参加などで、さまざまな活動を展開しています。



## 入学式や卒業式では通訳を披露

日ごろは、手話サークルの学外講師として、ろう者を招いて指導していただき手話の力を身に付けています。また、サークルOBの指導を仰ぎながら、イベントなどに臨んでいます。

大学開設時には入学式や卒業式などに手話通訳が付いていませんでしたが、一期生の聴覚障がい学生と手話サークルの働きかけがきっかけとなり、手話通訳が付くようになりました。現在は、手話サークルの学生が担当しています。また、卒業生の謝辞や在学生代表の祝辞も通訳しています。特に謝辞は、通訳者も卒業生が担い、大学生活で一生懸命学んだ手話を披露しています。



今年度の入学式より

## スピーチコンテストでは運営も担う

本学主催で行われてきた「中部手話スピーチコンテスト」では、手話での司会進行、受付、誘導、ゲスト紹介といった運営を担ってきました。コンテストは1992年に「第1回中部手話スピーチコンテスト」としてスタート。以来30回にわたり、「手話の普及と共生社会の実現」を目的に、幅広い年代の方々が出場してきました。

コンテストには、手話サークルからも毎回出場してきました。回を重ねるごとに手話のレベルが上がってきていることを実感しています。26回大会から新設された「手話朗読部門」では、絵本や詩を手話で表現することで、初心者でも仲間と一緒に手話を学び発表する機会となりました。この部門に出場した時は、大型絵本を作成し、より分かりやすく、より楽しく発表しました。28回大会から「ミニ手話講座」が始まり、手話サークル卒業生と共に、会場の皆さんと一緒に簡単な手話を学ぶ時間を作りました。このように手話サークルでは、卒業しても「手話」という共通の学びで繋がっています。

## 今年度から「全国手話スピーチコンテスト」に

「中部手話スピーチコンテスト」は30回記念大会を節目に、2023年度から「中部学院 全国手話スピーチコンテスト」に生まれ変わりました。手話の裾野を広げるため、『手話を楽しむ』試みとして、「手話朗読部門」を「手話パフォーマンス部門」とし、今まで以上に気軽に参加できるようになりました。

開催にあたっては、司会原稿を読み上げる学生と手話をする学生のスピードやタイミングを合わせるために、何度も何度も練習を重ねて本番に臨み、当日の変更に対しても対応できるように精いっぱい努めました。また、全て学生で通訳するには限界があるため、岐阜県聴覚障害者協会や岐阜県聴覚障害者情報センターなどの協力をいただき、必要な手話通訳士の依頼もしました。手話通訳士の動きを画面越しでなく、間近で見るとは非常に有意義な機会となりました。一つ一つ経験を積み重ねながら、成長を感じています。

## それぞれの目標に向かって挑戦

手話サークルに所属する学生のほとんどは、大学に入学してから手話を学びます。少しでも多くの人に関心を持ってもらえるように、オープンキャンパスでは「ミニ手話講座」のブースを設けるなどしています。また、年に1回行われる「全国手話検定試験」にも挑戦しています。それぞれが目標に向かって練習している仲間の姿を見て、刺激を受け合っています。

今後さまざまな活動に参加することで、大学時代の良き思い出と共に、卒業後も社会の一助になれればと願っています。



オープンキャンパスより



練習風景

## 2023年度 学長賞 受賞者一覧

【区分】1:成績・人格識見 2:研究 3:課外活動 4:ボランティア 5:その他

大 学		推薦事由
澤原 亜海 (人間福祉4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、将来は人の役に立つ仕事がしたいと社会福祉士、介護福祉士の両資格を取得し、介護福祉支援コースで学業に専念している。
市橋 雄大 (子ども教育4年)	1	人格識見特に優れ、小中学校教諭を目指し大学生生活に励んできた。岐阜県と横浜市教員採用試験に合格し専門的知識と技能習得のため教職大学院への進学が決定している。
森 千夏 (理学療法4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、リーダー的存在として臨床実習においても患者様にしっかりと対応できた。将来の理学療法士としての活躍がおおいに期待できる。
杉山 通世 (看護4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、医療現場で求められる質の高い専門的知識と技術を持ち合わせている。看護実践力のある看護専門職としての活躍がおおいに期待できる。
澤田 奈波 (スポーツ健康科4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、インターンシップ実習やゼミ活動のスポーツ体験会等における姿勢やお客様への対応は他の学生の模範で学部を代表する学生である。
宮坂 愛斗 (スポーツ健康科4年)	3	硬式野球部に所属し、キャプテンとして謙虚な姿勢でリーダーシップを発揮し全日本大学選手権大会ベスト8に導いた。また、10年振り春秋連続全国大会出場に貢献した。
笠原 瑛 (スポーツ健康科4年)	3	ゴルフ部に所属し、1年次から団体メンバーとして活躍しチームに貢献した。各種全国大会で活躍する一方、日本プロゴルフ協会資格認定プロテストに合格した。
長谷川 貴優 (スポーツ健康科4年)	3	ゴルフ部に所属し、1年次から団体メンバーとして活躍しチームに貢献した。各種全国大会で活躍する一方、日本プロゴルフ協会資格認定プロテストに合格した。
足立 龍聖 (人間福祉4年)	3	バスケットボール部に所属し、東海学生リーグ戦1部において2年連続リバウンド王を獲得するなど、体格には恵まれなかったが、ひた向きな努力で大きく成長した。
寺澤 紗良 (スポーツ健康科2年)	3	空手道部に所属し、ジュニアナショナルチーム強化選手選考会に選出、アジアカデットジュニア&U-21選手権大会を始め国民体育大会や全国選手権大会等で優勝を収めた。
中路 陽沙未 (スポーツ健康科2年)	3	空手道部に所属し、KARATE1シリーズAバンクーバー大会優勝を始め東海学生個人戦、春季東海学生選手権大会などにおいて輝かしい成績を収めた。
野村 飛翔 (スポーツ健康科1年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦、春季東海学生選手権大会における優勝をはじめ、国民体育大会に出場するなど、今後の活躍がおおいに期待できる成績を収めた。
小野寺 颯斗 (人間福祉4年)	5	警察官になるべく予備校やキャリア支援センターで苦学克服と実力向上に取り組み、努力と忍耐で難関である警視庁と神奈川県警にダブル合格し警視庁勤務が決定している。

## 短期大学部

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
西 希愛 (幼児教育2年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、ゼミ活動やボランティア活動における真面目に努力する姿勢や態度は他の学生の模範であり、幼児教育に携わる者に相応しい。
熊崎 天音 (社会福祉2年)	1	学業成績が優秀で人格識見特に優れ、学習やゼミ活動に臨む姿勢はいたって真摯で、大局的な視点から各メンバーのサポートを行なうなど、他の学生の模範である。
チュー シン ラッ (社会福祉2年)	1	岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会において、素晴らしいスピーチを披露し最優秀賞を受賞した。学業成績も優秀で学外での国際交流活動等にも積極的に参加し活躍した。

## 団 体

団体名	区分	推薦事由
剣道部	3	東海学生剣道優勝大会における男女上位入賞及び敢闘賞受賞及び男女揃っての全日本学生剣道優勝大会出場(男子:三年連続、女子:初)は、創部初の快挙である。

## 2023年度 同窓会長賞 受賞者一覧

【区分】1:学生会活動 2:大学の名誉・社会貢献 3:スポーツ・文化 4:その他

大 学		推薦事由
玉置 暖 (子ども教育4年)	4	学業成績優秀で学生会活動においては、コロナ禍の「学びの森フェスティバル」やキャンパスライフにおけるアイデアを出す一方、持ち前の明るさを活かし率先して活動した。
田中 大稀 (理学療法4年)	4	学業成績優秀で様々な役割を積極的に引受け、真面目で向上心が強くムードメーカー的存在である。患者様にしっかりと寄り添える理学療法士になることが期待できる。
長屋 芽依 (看護4年)	4	学業成績優秀で何事にも意欲的に取り組み、自らの考えや意見を持ち妥協を許さない強い意志で自分を高められる。教員や仲間からの信頼も厚く、人格識見に優れる。
小久保 夏芽 (スポーツ健康科4年)	4	学業成績優秀で様々な活動に熱心に取組み、明朗快活でバスケットボール部副キャプテンを務めるなど、文武両道を果たした。保健体育教員を目指し努力している。
藤田 仁平 (スポーツ健康科2年)	3	剣道部に所属し、東海学生選手権大会(個人戦)3位入賞、全日本剣道選手権大会及び全日本東海対抗試合出場など、輝かしい成績を収め、今後の一層の成長が期待できる。
森 彩葉 (人間福祉4年)	3	剣道部に所属し、東海女子学生選手権大会ベスト8、全日本女子学生剣道選手権大会出場など、創部初の輝かしい成績を収めた。
生魚 瑠那 (スポーツ健康科4年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦出場及び春季東海学生選手権大会5位入賞を始め、全日本学生選手権大会に出場などした。
杉山 優希 (スポーツ健康科3年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦及び春季東海学生選手権大会準優勝を始め、全日本学生選手権大会に出場などした。
永澤 仁 (スポーツ健康科3年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦及び春季東海学生選手権大会3位入賞を始め、全日本学生選手権大会に出場などした。
平田 羅生 (子ども教育1年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦出場及び春季東海学生選手権大会ベスト16を始め、全日本学生選手権大会に出場などした。
平田 海翔 (スポーツ健康科1年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦5位及び春季東海学生選手権大会3位入賞を始め、全日本学生選手権大会に出場などした。
齊田 乃愛 (スポーツ健康科1年)	3	空手道部に所属し、東海学生個人戦3位、春季東海学生選手権大会準優勝を始め、全日本学生選手権大会に出場などした。

## 団 体

団体名	区分	推薦事由
ゴルフ部男子	3	春の中部学生ゴルフ1部大学対抗戦で2013年から連続優勝、連続全国大会に出場、本年度の入賞は叶わなかったが全国の強豪大学に引けを取らない活躍をした。
ゴルフ部女子	3	春の中部女子学生ゴルフ大学対抗戦で2位・4年連続全国大会に出場、本年度の入賞は叶わなかったが全国の強豪大学に引けを取らない活躍をした。
空手道部	3	春季東海学生選手権大会の女子団体組手準優勝、秋季東海学生選手権大会の男子団体形及び女子団体組手優勝。全日本大学選手権大会男子団体形及び女子団体組手出場。

同窓会新評議員の紹介 本年度の卒業生を代表して、同窓会評議員として活躍していただく皆さんです。

### 大 学

- 人間福祉学科/古田 翔哉
- 子ども教育学科/玉置 暖
- 理学療法学科/久保田康介
- 看護学科/遠山 寧
- スポーツ健康科学科/渡邊 滯

### 短期大学部

- 社会福祉学科/田中 美穂
- 幼児教育学科/梅田 莉乃



# CLUB & CIRCLE

## バレーボール部

### 女子 悲願の1部昇格を果たす 男子はあと一歩及ばず

東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会で、2部リーグの女子バレーボール部は、10勝全勝の勝ち点20で優勝を飾り、1部・2部入れ替え戦に臨みました。1部8位の愛知教育大学と対戦し、セットカウント3-1で勝利し、悲願の1部昇格を決めました。また、個人成績では、アタック決定率で廣井颯希選手(スポーツ④/岐阜各務野高校出身)が1位、佐野有彩選手(同①/愛知・豊川高校出身)が2位、サーブ効果率で山本真緒選手(同)が1位、サーブレシーブ成功率では、市野伶菜選手(教育④/岐阜・済美高校出身)が2位に輝きました。



一方、同じく2部リーグに所属する男子バレーボール部は3位(5勝2敗・勝ち点12)で終え、1部への再昇格は持ち越しとなりました。なお、個人成績では、竹内裕貴選手(スポーツ③/岐阜聖徳学園高校出身)が得点とサーブ効果率で2位、鈴木雄大選手(同②/愛知・大同大学大同高校出身)ブロック決定本数で2位でした。

## 空手道部

### 寺澤紗良選手 アジアカデット・ジュニア&U21で連覇 全日本大学選手権に男子は形・女子は組手に出場



空手道のアジアカデット・ジュニア&U21選手権大会がカザフスタンで開かれ、寺澤紗良選手(スポーツ②/岐阜・済美高校出身)が、昨年に引き続き出場し、U21女子組手-68kgで見事連覇を達成しました。また、燃ゆる感動がごしま国体の成年女子組手でも優勝を飾りました。女子形の中路陽沙未選手(同)は、KARATE1シリーズA2023マトジニョシュ大会3位、KARATE1プレミアリーグ2023ダブリン大会5位に入りました。



団体種目では、秋季東海地区大学選手権で男子は形、女子は組手でそれぞれ優勝し、全日本大学選手権大会(11月・日本武道館)に出場しました。個人では、野村飛翔選手(スポーツ①/山口・高水高校出身)がごしま国体に山口県代表として出場しました。

【全日本大学選手権大会 出場選手】(カッコ内の丸数字はスポーツ健康科学部の学年、出身高校)

【男子形】高杉龍之介(④/愛知・東邦)杉山優希(③/東海大学付属静岡翔洋)野村飛翔(①/山口・高水)平田海翔(①/愛媛・松山中央)

【女子組手】生魚瑠那(④/埼玉・花咲徳栄)山口めぐみ(教育④/浜松開誠館)寺澤紗良(②/岐阜・済美)久富優羽(②/同)齊田乃愛(①/京都・華頂女子)大嶽麗(①/同)

## 剣道部 全日本学生・女子学生優勝大会(団体)に男女出場

本学剣道部は、剣道の全日本学生学生優勝大会(男子)ならびに全日本女子学生学生優勝大会にそれぞれ出場しました。男子は大阪市中央体育館で行われ、1回戦で日本経済大学に敗退。女子は愛知県の春日井市総合体育館であり、1回戦で大阪体育大学に敗れ、共に初戦突破はなりませんでした。

### 【出場選手】

【男子】山畑蒼一郎(スポーツ④/郡上)土屋壮平(同③/高山西)黒川暉瑛(教育③/中京)志田聖夜(スポーツ③/宮崎・都城東)小林琢弥(同③/静岡・磐田東)石樽大暉(同③/郡上)柴田竜雅(同③/岐阜・済美)藤田仁平(同②/高山西)石原共晟(同②/京都・東山)  
【女子】森彩菜(人間福祉④/美濃加茂)森雪菜(教育④/同)木村桃子(同④/高山西)村上侑季(スポーツ④/大阪・履正社)岩田美海(人間福祉③/岐阜・済美)三輪美乃(看護③/高山西)井上楓(教育①/福井・丸岡)



## 陸上競技部

### 則武桃佳選手 全日本35km競歩で愛知県記録更新

陸上競技部の則武桃佳選手(スポーツ④/愛知・至学館高校出身)が、昨年10月に山形県高島町で開かれた「全日本35km競歩高島大会」一般女子35km競歩に出場し、愛知県記録更新となる3時間13分46秒の好タイムで3位に入賞しました。また、2月に兵庫県神戸市で行われる「日本陸上競技選手権大会」(20km競歩)、3月に石川県能美市で開かれる「日本学生20km競歩選手権大会」(女子20km競歩)に出場します。

## 硬式野球部 8名が社会人野球へ

硬式野球部から、社会人野球に8名が進むことになりました。所属先は次の通り。

【投手】中尾要一郎(伯和ビクトリーズ/人間福祉、広島商業高校出身)金村郁弥(ジェイプロジェクト/同、神戸村野工業高校出身)影山雄貴(INVENTIVE 41 / 同、山形・鶴岡東高校出身)  
【内野手】宮坂愛斗(日本製鉄東海REX / スポーツ、長野・上田西高校出身)木村維心(ジェイプロジェクト/人間福祉、島根・矢上高校出身)  
【外野手】大江拓輝(JR西日本/人間福祉、青森・八戸学院光星)宮崎龍司(JPアセット証券/同、徳島・鳴門高校出身)張田元(矢場とんブースターズ/同、東海大付属甲府高校出身)



(写真手前左から)張田選手、宮坂選手、大江選手、宮崎選手  
(同奥左から)木村選手、影山選手、金村選手、中尾選手

## 女子ソフトテニス部 全日本大学対抗選手権に出場

文部科学大臣杯全日本大学対抗選手権大会(インカレ)に出場した女子ソフトテニス部は、初戦で関西外国語大学と対戦し、残念ながら勝ち進むことができませんでした。また、東海学生女子1部リーグソフトテニス大会秋季リーグでは勝ち点0の6位(最下位)と振るいませんでした。



# TOPICS

## 岐阜大学・岐阜市立女子短大と大学間連携 地域力向上に向け、連携開設科目を設置

本学は、岐阜大学、岐阜市立女子短期大学と共に、大学間連携を促進する文部科学省の地域活性化人材育成事業SPARC(スパーク)に採択され、「ぎふ地域創発人材育成プログラム～地域活性化を目指した知的基盤の確立～」として、連携を進めています。

3大学は昨年11月、大学等連携推進法人である「一般社団法人高等教育ネットワーク岐阜」を設立し、12月には臨時総会を開きました。その中で、事業方針を確認し、各大学が授業を共有する「連携開設科目」が設置できるようになりました。来年度以降、例えば、起業を学ぶ岐阜大学のアントレプレナーシップ教育科目などが本学に提供される予定です。

また、総会に先駆け、昨年11月には、県内の産業界や行政、金融機関と構成する地域連携プラットフォーム「SPARC-GIFU」を結成しました。観光やまちづくりの関係団体、岐阜県、岐阜市、高山市、中津川市、十六銀行などの産官学14機関でプラットフォームの運営協議会を構成。高等教育ネットワーク岐阜などを通じて、各地域の課題を集約し、ニーズに即した事業企画の提案などに結び付けていきます。



### ※SPARC(スパーク)

地域社会と大学間の連携を通じて、既存の教育プログラムを再構築し、地域をけん引する人材を育成することを目的としています。今後、教育リソースを共有しながら、地域社会の課題解決につながる活動などを進めていきます。

## 理学療法学科 高齢者の健康づくりに寄与 JAめぐみのと体力向上プログラムを開発

看護リハビリテーション学部理学療法学科は2018年から「高齢者の体力向上プログラムの開発」に取り組んでいます。めぐみの農業協同組合(JAめぐみ)と協力し、これまでにJAデイサービスセンターでの体操指導や研究を行い、目盛りをプリントしたオリジナルタオルを開発。同タオルを使用して行う「あしゆび体操」は、足の指の力でタオルを引き寄せる運動で、足の指の握力の向上、歩行能力や立った時のバランスを支える筋力の維持、転倒予防に期待ができます。今年度も指導や認知症予防を目的とした脳トレーニングを行いました。

また、岐阜県内の大学や短大、専修学校など25校と岐阜県で構成するネットワーク大学コンソーシアム岐阜では「学生による地域課題解決提案事業」成果報告会が行われ、同学科の学生が、「みんなで楽しく健康づくり ～フレイル予防のための運動指導～」(担当教員:菅沼淳一講師)について発表しました。健康に対する意識の向上を目指し、関市内の大型商業施設や老人介護施設、大学祭などで活動した運動指導を紹介しました。



## 大学催事

### 「大学祭・たのしみん祭」「学びの森フェスティバル」 4年ぶりに完全「リアル」開催

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、今年度は多くのイベントでリアル開催が実現しました。そのうち、毎年10月に関キャンパスで行っている「大学祭&たのしみん祭」には、近隣の幼稚園や保育園、小中学校、高校、特別支援学校をはじめ、企業や施設など約70団体が参加。天候にも恵まれ、約5000人が来場しました。

各務原キャンパスと学びの森では毎年11月3日に「学びの森フェスティバル」を開催しています。教育学部の学生による子ども向けのイベントをはじめ、同学部や社会福祉学科美・デザインコースと医療事務コースによる模擬店もあり、多くの子どもや市民の皆さんが集いました。



大学祭・たのしみん祭より



学びの森フェスティバルより

## 産官学連携

### 廃材を活用したおもちゃを創作

短期大学部幼児教育学科では美濃加茂市などと産官学連携による「おもちゃ創作」に取り組みました。市立あじさい保育園の依頼を受け、木構造建材や内装建材などを取り扱うセブン工業株式会社から提供してもらった建築端材を活用し、子どもたちに「パズル」「木琴」「車」「玉転がし」などの木製おもちゃを創作しました。制作では、同市おもちゃ病院の医師の指導をいただきました。



### 各務原市の魅力を伝える動画を制作

短期大学部社会福祉学科の学生21名は、各務原市観光協会と連携し、市内の魅力を伝える動画を制作。若い世代に人気のあるブログ動画「Vlog」を意識した作風に仕上げ、画角もスマートフォンで観られるようにリール(約90秒の縦動画)を織り交ぜるなど工夫しました。動画は大学の公式YouTubeで配信されています。



## 留学生・国際交流

### 外国人留学生日本語弁論大会で最優秀賞

岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会で、短期大学部社会福祉学科2年生でミャンマーから留学しているチャー シンリン ラッサンが最優秀賞を受賞しました。『小さなことから幸せを見つける』と題し、留学生活で人の優しさに触れ、日々たくさんの小さな幸せに気づけるようになったエピソードを丁寧に語りました。



### 「Let's Try Gujo Bon Dance」で交流

外国人留学生が地域の文化に触れたり、日本人学生と交流する機会を設けたりしていますが、「風流踊」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録されている「郡上踊」をキャンパスで体験しようと、同保存会のメンバーを招いた国際交流イベントを開催。一緒に踊りの輪を作り、日本文化の魅力に触れました。



## 公開講座

### 看護リハビリテーション学部 心と体を整えていつまでも健康に

看護学科開設10周年を記念した看護リハビリテーション学部公開講座を開催。新型コロナウイルス感染症の蔓延による心と体の疲れに対し、「心と体を整えていつまでも健康に」をテーマに、「皮膚を整える」「筋肉を整える」「メンタルを整えるーストレスを生む『ズレー』」について講演がありました。



### 地域公開講座 リスキングについて理解を深める

これからの時代に重要性が高まっているDX(デジタルトランスフォーメーション)やリスキングについて理解を深めようと、一般社団法人ジャパンリスキングイニシアチブ代表理事の後藤宗明氏が、「リスキングの現状とこれから ～DX人材育成のために、組織・地域で何が必要か～」と題して講演しました。



### 2024年度 年間行事予定 2024年3月1日現在

#### 入学式

4/2(火) 長良川国際会議場  
前期授業開始日 ※  
4/8(月)  
開学記念日  
5/14(火)

#### 後援会総会・保護者懇談会

6/1(土) 関・各務原  
前期定期試験日 ※  
7/29(月)～8/2(金)  
後期授業開始日 ※  
9/20(金)  
大学祭・たのしみん祭・ホームカミングデー  
10/19(土) 関  
学びの森フェスティバル  
11/3(日)文化の日 各務原

#### 中部学院全国手話スピーチコンテスト

11/16(土) 各務原  
クリスマスツリー点灯式  
11/25(月)  
クリスマス礼拝・祝会  
12/23(月) 関  
年内授業最終日  
12/23(月)  
年始授業開始日  
1/6(月)

#### 大学入学共通テスト

1/18(土)・19(日) 関  
後期定期試験 ※  
1/20(月)～1/24(金)  
卒業礼拝・卒業式リハーサル  
3/19(水)  
卒業式  
3/20(木)春分の日  
各務原市ブリニエの市民会館

※ … 学科により異なる





中部学院大学  
同短期大学部

関キャンパス 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211  
各務原キャンパス 〒504-0837 岐阜県各務原市那加甥田町30-1 TEL 058-375-3600

[大学院] 人間福祉学研究所 修士課程 博士課程(後期)

[大学] 人間福祉学部 人間福祉学科(社会福祉コース/精神保健福祉コース/介護支援コース/地域貢献コース)通信教育部  
教育学部 子ども教育学科(小学校・中学校教諭コース/幼稚園教諭・保育士コース)  
看護リハビリテーション学部 理学療法学科 看護学科

スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康領域/スポーツマネジメント領域/障がい者スポーツ領域/保健体育科教育領域)

[短期大学部] 幼児教育学科(あそびすとコース/障がい児支援コース/子育て支援コース)  
社会福祉学科(介護福祉コース/美・デザインコース/医療事務コース)